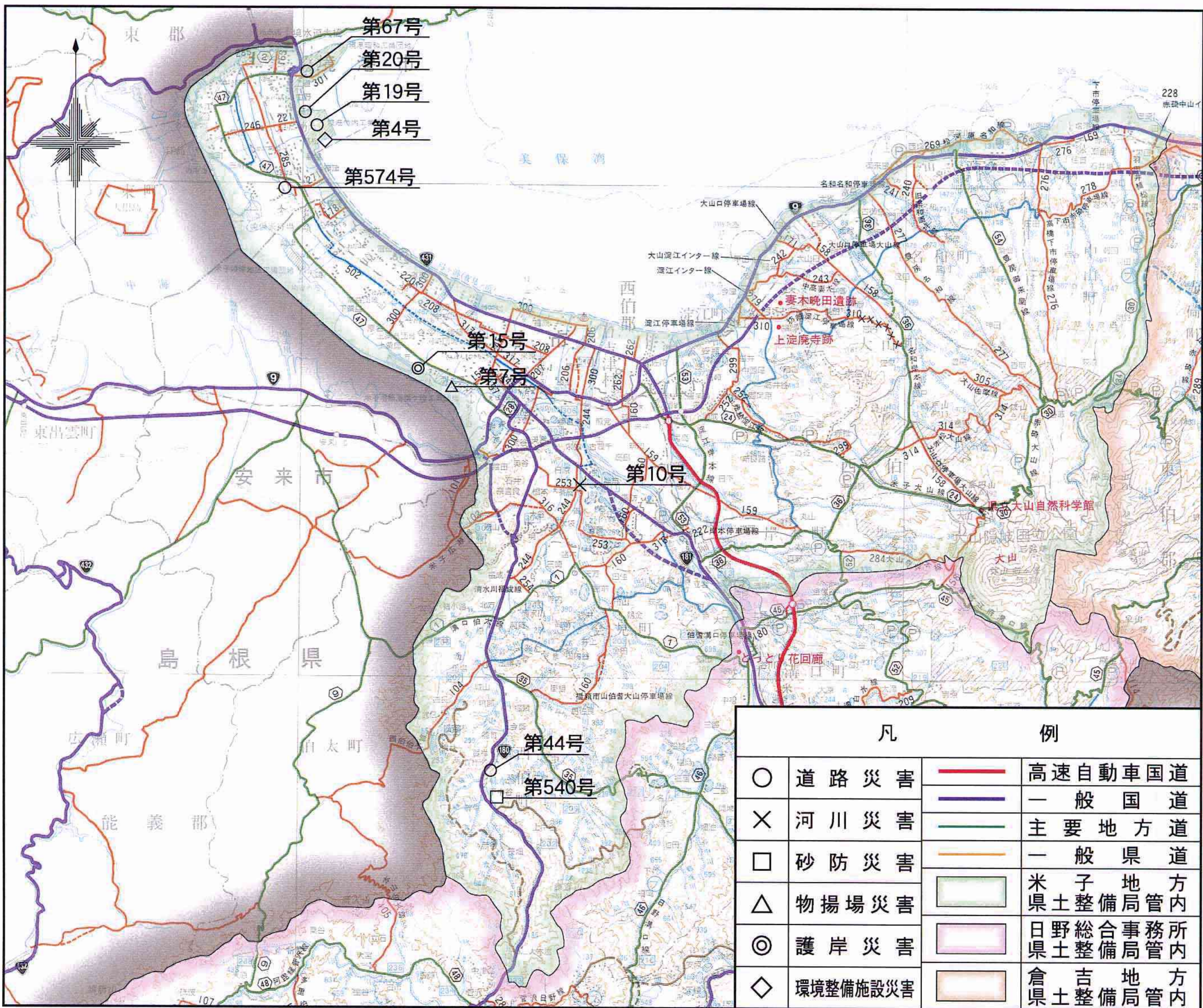
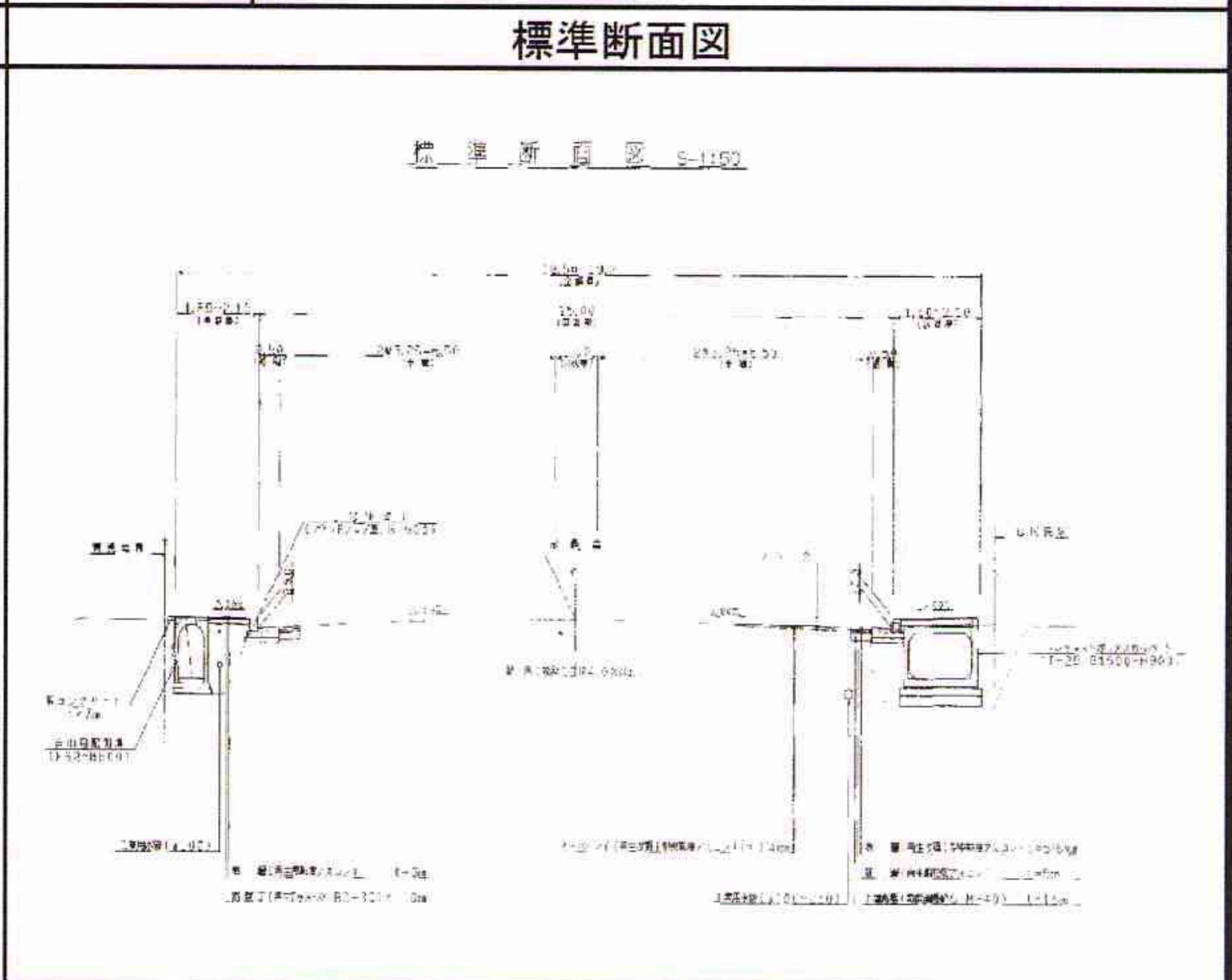
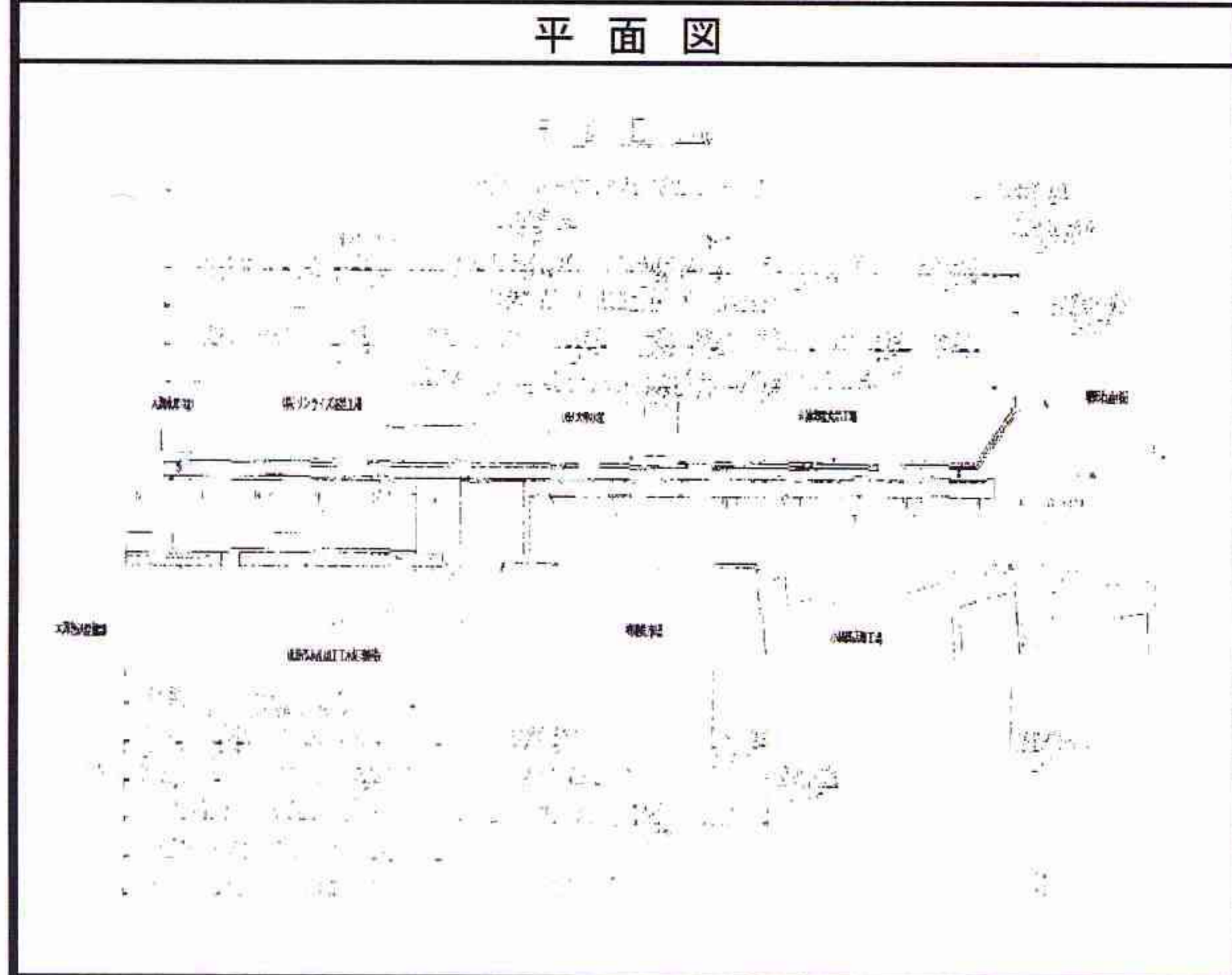


5.2 米子地方県土整備局管内

工事番号	工事名	施工位置	頁
12年災第19号	境港道路災害復旧工事	境港市竹内団地	78
12年災第20号	境港道路災害復旧工事	境港市竹内団地	80
12年災第44号	一般国道180号道路災害復旧工事	西伯郡西伯町下中谷	82
12年災第67号	一般県道境外港線道路災害復旧工事	境港市昭和町	77
12年災第574号	一般県道米子空港境港(T)線道路災害復旧工事	境港市小篠津町	84
12年災第10号	一級河川大川(右岸)河川災害復旧工事	米子市福市	86
12年災第540号	一級河川日野川水系赤谷川右岸砂防災害復旧工事	西伯郡西伯町下中谷2号	87
12年災第7号	米子港物揚場(-3.0m)災害復旧工事(その2)	米子市灘町	88
12年災第15号	米子港安倍地区護岸災害復旧工事	米子市安倍	90
12年災第4号	境港緑地・災害関連港湾環境整備施設災害復旧工事	境港市竹内団地	91



番号	12年災 第 67 号	震央からの距離	約32km
災害年月日	平成12年10月6日	緯度/経度	35° 32' /133° 14'
河川名・路線名等	一般県道 境外港線	工事概要	復旧延長 L=312.2m W=13.0(18.5~19.2) プレキャストボックスカルバート 102m 自由勾配側溝 277m 車道路盤(t=35cm) 211㎡ 車道路盤(t=15cm) 391㎡ 車道基層(t=5cm) 360㎡ 車道表層(t=6cm) 391㎡ 歩道表層(t=3cm) 586㎡ 歩道路盤(t=10cm) 586㎡
施工位置	境港市昭和町		
工事名	道路災害復旧工事		
工事費	51,907千円		
被災原因 その他	平成12年10月6日 鳥取県西部地震による 気象コード(00445)		



被災状況写真



復旧状況写真

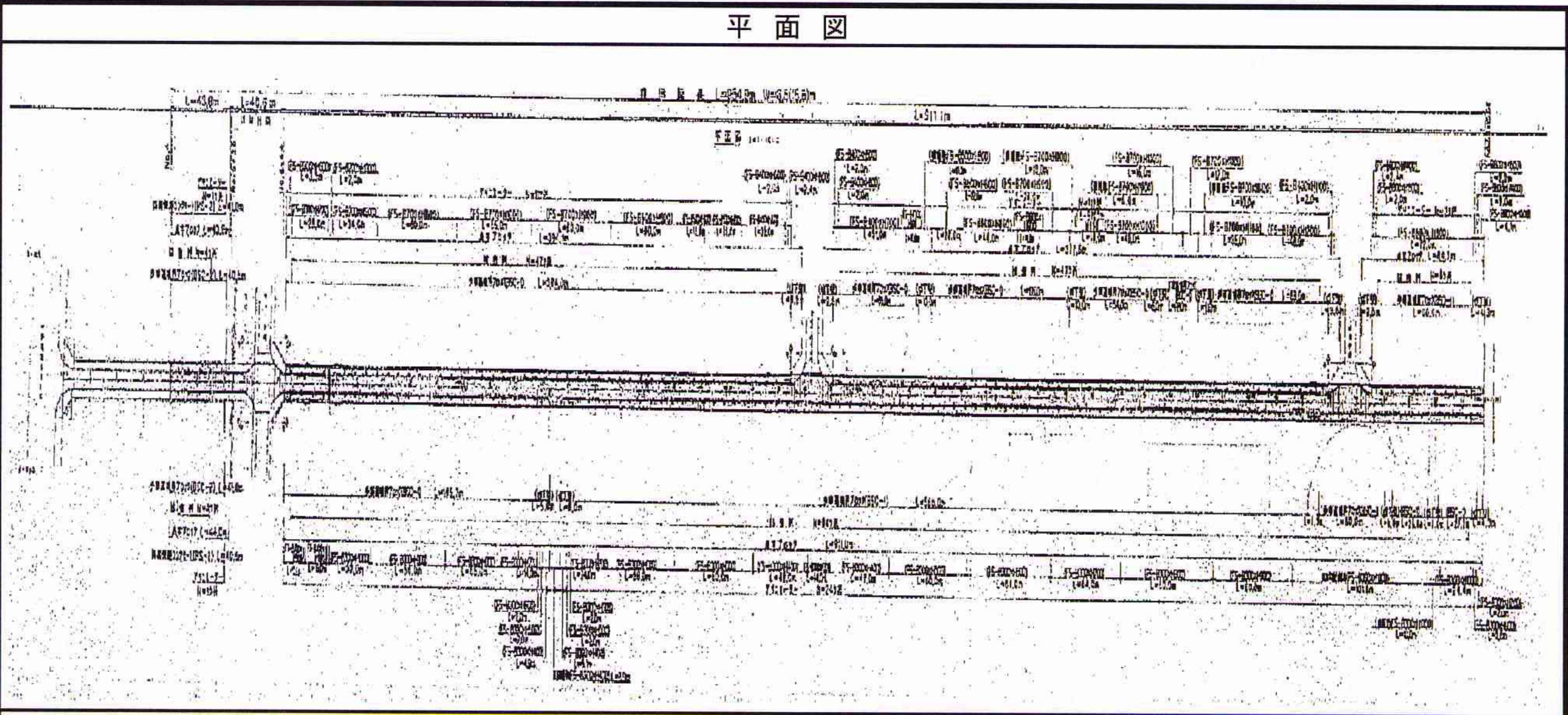


番号	12年災 第19号	震央からの距離	約30km
災害年月日	平成12年10月6日	緯度・経度	35° 30' / 133° 15'
港湾名	境港	工事概要	竹内ふ頭1号線 L=954.9m 舗装工 L=954.9m 水路工 L=1,754.8m 夢みなと橋 L=18.4m 伸縮継手工 L=48.65m
施工位置	境港市竹内団地地内		
工事名	道路災害復旧工事		
工事費	204,169千円		
被災原因及び形態	平成12年10月6日 鳥取県西部地震 震度6強 震源地:鳥取県西部(溝口町付近) マグニチュード7.3 震源の深さ 約10km 被災原因:震動による亀裂及び沈下	工事概要	
被災機構	・地震により液状化現象が発生し、未改良部分、側溝等の地盤密度の低い部分、水平振動によって亀裂・空隙が発生した箇所を中心に噴砂 ・震動によってアスファルトと上層路盤材の間にズレが生じて空隙が発生、この空隙に噴砂が一気に浸入し、アスファルトの弱い部分が隆起	復旧工法の考え方及び工法選定の理由	地震による液状化現象で変状した水路や路面は、水路を布設替えし、舗装を下層路盤から表層まで打替えることで原形復旧を図った。

被災状況写真

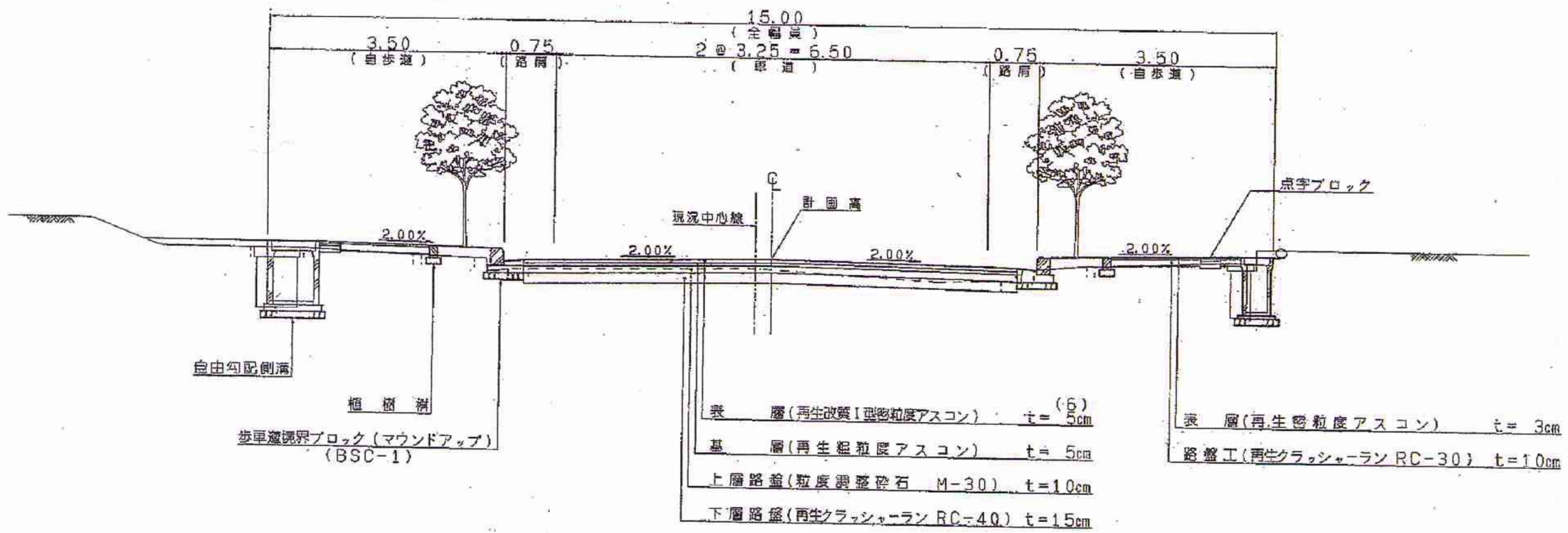


平面図



標準断面図

臨港道路マリーナ線 ~ E P

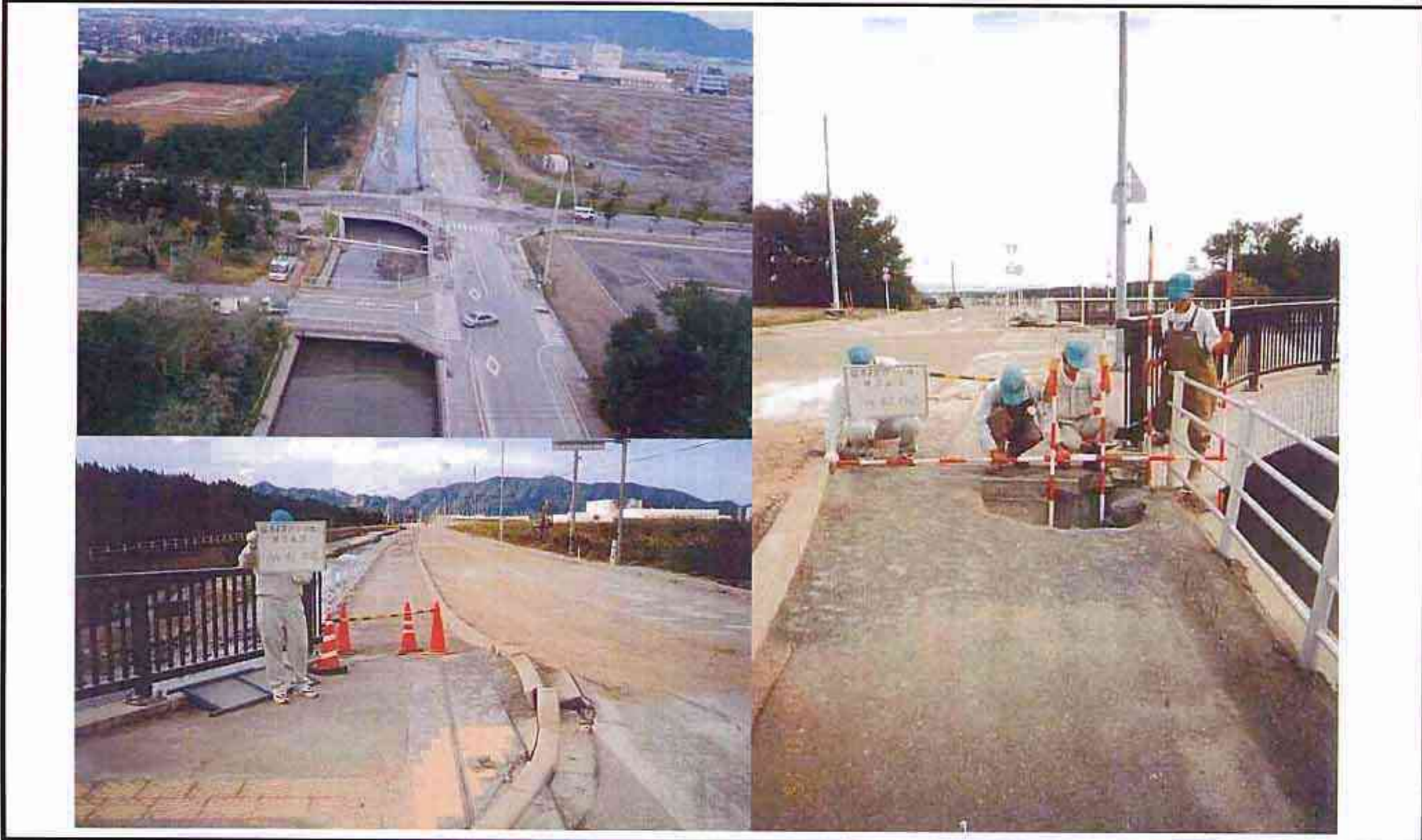


復旧状況写真

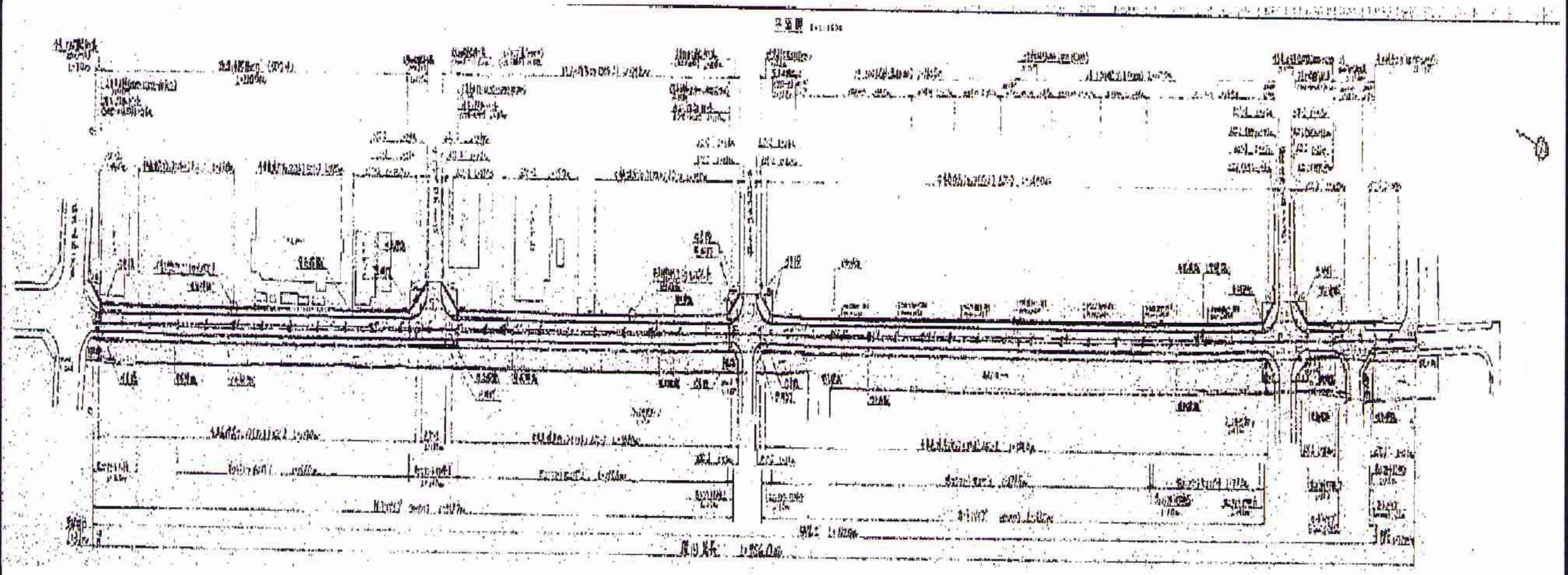


番号	12年災 第 20 号	震央からの距離	約30km
災害年月日	平成12年10月6日	緯度・経度	35° 30' / 133° 15'
港湾名	境 港	工事概要	竹内水路護岸(東) 竹内マリーナ線 L=956.0m 舗装工 L=956.0m 水路工 L=956.0m
施工位置	境港市竹内団地地内		
工事名	道路災害復旧工事		
工事費	241,091千円		
被災原因及び形態	平成12年10月6日 鳥取県西部地震 震度6強 震源地:鳥取県西部(溝口町付近) マグニチュード7.3 震源の深さ 約10km 被災原因:震動による側方移動、亀裂及び沈下	工事概要	
被災機構	<ul style="list-style-type: none"> ・地震により液状化現象が発生し、未改良部分、側溝等の地盤密度の低い部分、水平振動によって亀裂・空隙が発生した箇所を中心に噴砂 ・震動によってアスファルトと上層路盤材の間にズレが生じて空隙が発生、この空隙に噴砂が一気に浸入し、アスファルトの弱い部分が隆起 ・水平振動により嵩上げコンクリート壁が側方移動し、内側に変状、歩道アスファルトに亀裂発生、沈下 	復旧工法の考え方及び工法選定の理由	地震による液状化現象で変状した水路や路面は、水路を布設替えし、舗装を下層路盤から表層まで打替えることで原形復旧を図った。また、河床が隆起して水が流れなくなった承水路については、土砂を撤去し原形復旧を図った。

被災状況写真

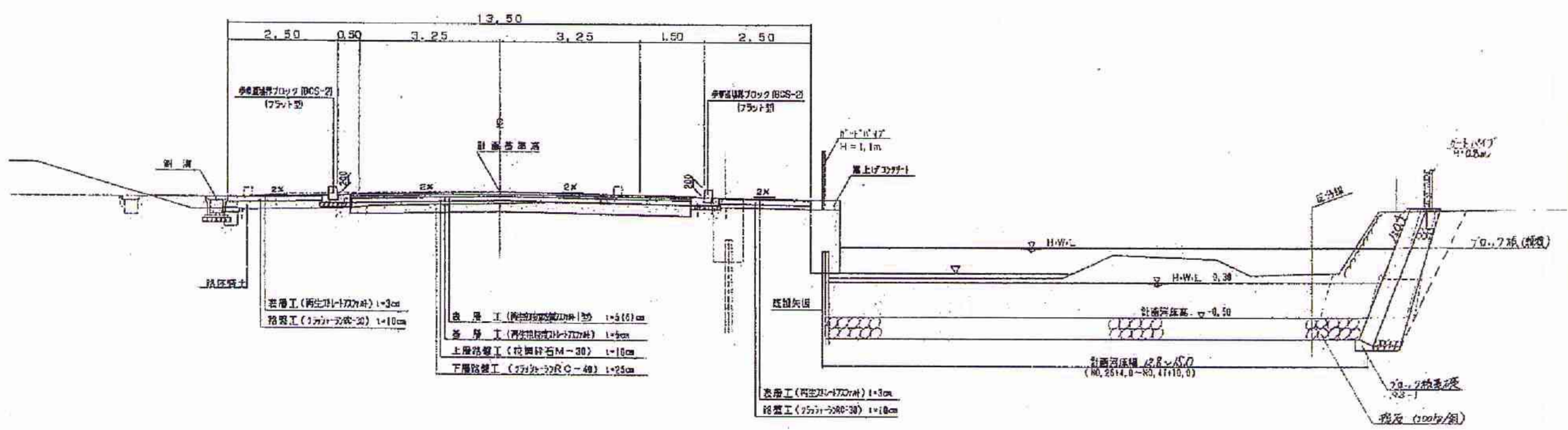


平面図



標準断面図

標準断面図(標準部) S=1:1.5



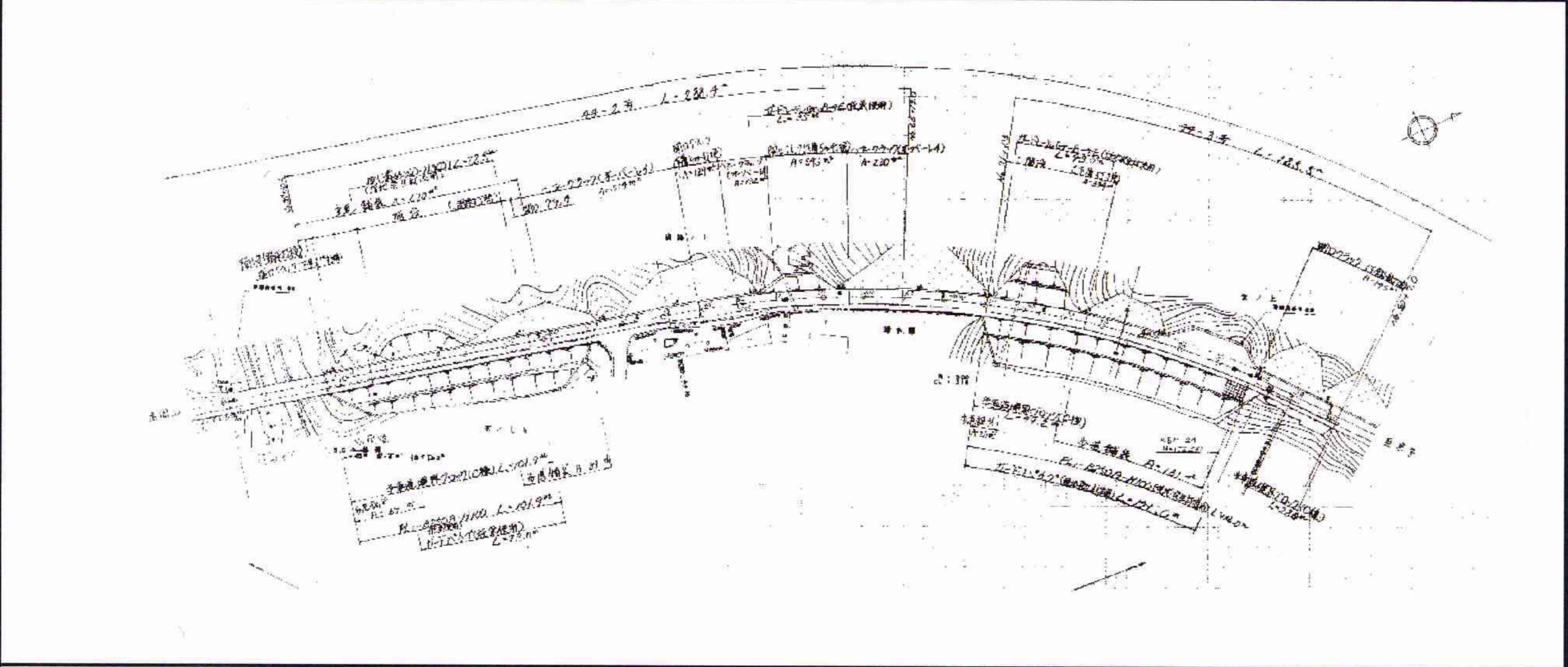
復旧状況写真



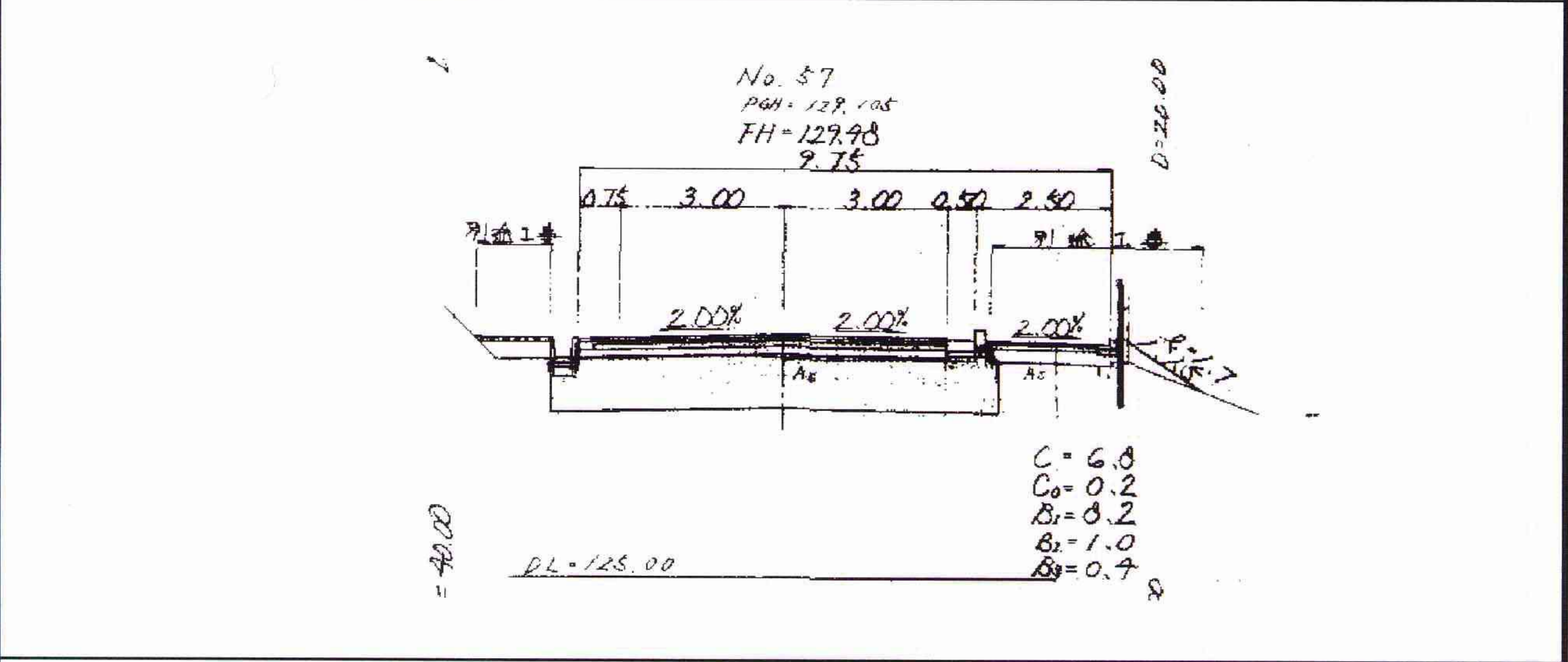
番号	12年災 第 44 号	震央からの距離	約6km
災害年月日	平成12年10月6日	緯度・経度	35° 18' / 133° 19'
河川名・路線名等	一般国道 180号	工事概要	復旧延長 L=1,578.5m (道路幅員W=9.8~19.0m) 車道舗装工(t=11cm) A=6,020㎡ 車道路盤工(t=25cm) A=5,550㎡ 舗装工(t=2~5cm) A=3,250㎡ L型側溝 L=482m 防護柵 L=590m 歩車道境界ブロック L=707m
施工位置	西伯郡西伯町下中谷		
工事名	道路災害復旧工事		
工事費	80,830千円		
被災原因及び形態	平成12年10月6日 鳥取県西部地震による 気象コード(00445)	復旧工法の考え方及び工法選定の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・復旧は従前の効用を回復することを原則とする。 ・舗装、路盤までの比較的小さなクラックは、影響範囲を路盤材の充填、または入れ替え後、舗装の打ち換えを行う。 ・路面が平坦性を失っている箇所、クラックが路床まで及んでいる箇所は、影響範囲までの路床の切り返し、舗装(路盤を含む)の全面打換とする。
被災機構	<ul style="list-style-type: none"> ・水平振動によりアスファルト路面に亀裂、上下振動により橋梁前後に段差が発生 ・その多くは盛土部に集中しており、地山密度との違いによって弱い部分(盛土、ウラ込め部)に変位が生じ、これが路面に影響した。 		



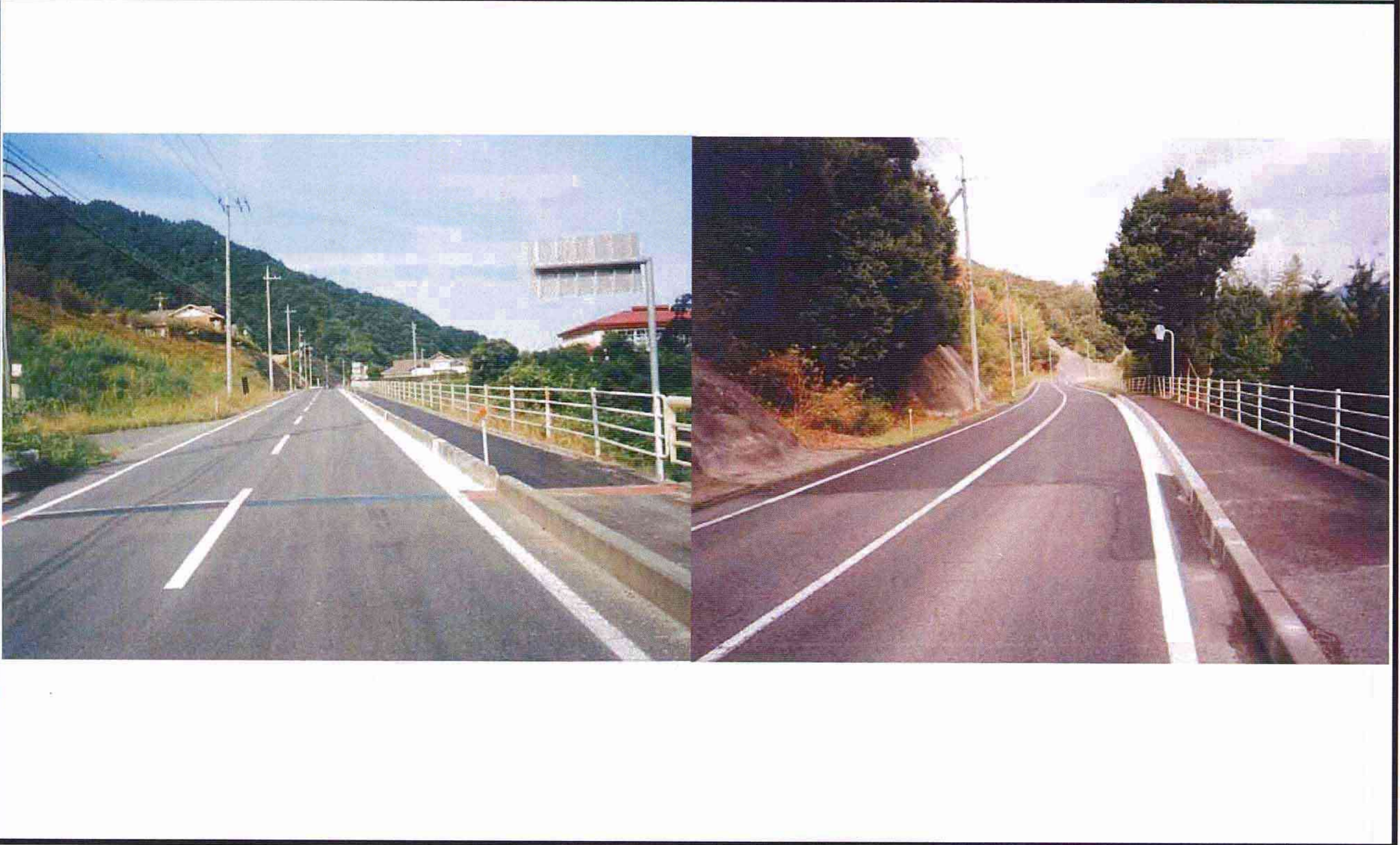
平面図 (一部)



横断面図 (一部)



復旧状況写真



番号	12年災 第 574 号	震央からの距離	約28km
災害年月日	平成12年10月6日	緯度・経度	35° 30' / 133° 14'
河川名・路線名等	一般県道 米子空港境港(T)線	工事概要	復旧延長 L=123.9m W=15.0~23.0m 車道舗装工(t=6cm) A=798㎡ 車道基層工(t=5cm) A=798㎡ 車道上層路盤(t=10cm) A=397㎡ 車道下層路盤(t=10cm) A=397㎡ 歩道舗装工(t=3cm) A=547㎡ 歩道路盤工(t=10cm) A=547㎡
施工位置	境港市 小篠津町		
工事名	道路災害復旧工事		
工事費	26,296千円		
被災原因及び形態	平成12年10月6日 鳥取県西部地震による 気象コード(00445)	工事概要	
被災機構	<ul style="list-style-type: none"> ・水平振動によりアスファルト路面に亀裂、橋梁前後に段差が発生 ・水平振動によりのり面ブロック積が側方移動し、かつ斜め下方向へひきずられ、のり面崩壊、路面亀裂及び沈下発生 ・大部分は盛土部を中心に発生しており、地盤密度の弱い部分(盛土、裏込部)に変位が生じ、これが路面に影響を及ぼした ・地震により一部液状化現象が発生し、側溝等の地盤密度の低い部分、水平振動によって亀裂・空隙が発生した箇所を中心に噴砂 	復旧工法の考え方及び工法選定の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・復旧工法の考え方 原形復旧 クラックまで路体の入れ替え ・工法選定の理由 当該箇所の被災状況は、中浜の方向へ側方移動し、歩車道境界ブロック全面と舗装との境界部に約2~3mのクラックが生じた。そのためクラック深さまでの路肩体を入れ替えたものである。

被災状況写真

